

御殿場

2011
No.193号

5

十字の園

(題字 鈴木生二)

発行／総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 宮島克利

〒412-0023 御殿場市深沢1465の1

TEL 0550-83-1999

FAX 0550-82-5189

<http://www.jyuji.ne.jp>

e-mail ; info@g.jyuji.or.jp

印刷／岳麓印刷株式会社

(聖句) 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12; 15)



初桜 折りしも今日は よき日なり (松尾芭蕉)
2011年4月13日 福島邸 花見

イルド

理事長 平井 章

婦人保護施設「かにた婦人の村」の創設者深津文雄氏は『底点』の言葉を発見した。

人間の社会を二等辺三角形になぞらえて、上が頂点、下を底辺と呼ぶ。深津氏は、それが「錯覚だ、その理解は誤っている。」と、そして、「漠然と底辺と呼んでいるところは考えていたより凹凸で、奥深く、下には下があつて、もう一つの逆三角形に感じられる。上の三角形が上すばかりであつたように、下の三角形も下すばかりで、そのドン詰まりは、ただ一つの点になる。そこを『底点』と呼ぶことにした。」と言われます。さらに「みんなが見落としているこの小さな場所を見つけることが福祉事業の原点だ」と言います。

制度や法律のない時に起こされた神山復生病院の働き、聖隷福祉事業団、十字の園の働きは、その『底点』との出会い、そこから始まったと言えます。いつの時代も「底点」はあります。発見する目を養いたいものです。

開設四〇周年を迎えるにあたって

御殿場十字の園 施設長 宮島 克利

一九七一年四月に特別養護老人ホームとして開設した御殿場十字の園は、今年で四〇周年の節目を迎えます。この節目の意義として思うことは二つあります。一つは、開設時の思いや理念を振り返り、そのことをしっかりと認識していくことでもあります。

開設当時は、近隣に特別養護老人ホームなど介護施設はなく、東名高速道路の開通など高度経済成長期の最中でありました。一方介護を必要とする方は、家庭に取り残されていた状況であったことが、当時の新聞記事等で知ることができます。そんな中、「家庭における寝たきり老人のお世話の難しさ」をどのように解決して行ったらよいか」という

地域からの切なる「声」に応えるため、日本キリスト教団御殿場教会が発起人となり、開設に至りました。

当時の御殿場教会の牧師であられました岡本明夫氏は、法人の機関紙に「主が家を建てられるのでなければ、建てる者の勤労はむなし。」との

聖書のお言葉のとおり、一切を神様にお任せして、また、「汝の隣り人を愛せよ」との教えに従って開設にあたられたことが記されており、教会を中心にして始まった施設であり、教会員が職員として関わり、教会とともに歩んできた経緯があります。また、教会関係者や地域の商店、事業所や地域住民などからの多くのご寄付やボランティア

御殿場十字の園防災事情

四月一日現在

三月一日の東北地方太平洋沖地震。ここ御殿場でも震度五弱を記録しました。被災地の死者、行方不明者を思うととても辛く、一日も早い捜索や復興を願ってやみません。

当施設でも出来ることをしていきたいという思いの中、理事長の指示の下、法人の取りまとめにより救援募金をしたり、今後職員を派遣することとなりました。(当施設内の第一回目四月一日救援募金は十一万一千七百九十五円でした。ご協

力ありがとうございます。)

この度の地震では、震災は他人ごとではなく、いつでも、大規模災害に遭う可能性があることを再認識いたしました。また、当施設の災害に対する設備や備品等について改めて気づいたこともあり、改めまして、そうした防災設備や備品等について、周知していくことで、有事の際の助けになればと思ひ、まとめましたので御覧ください。(防災対策委員より)

防災備蓄倉庫

災害時に一七〇人が九回食事できる食料を保管しています。保管食料は、ごはん(アルファ米)、汁物(スープ・味噌汁)、お粥、パンの缶詰、カレー等です。その他この倉庫には、小型発電機(ガソリン)、照明器具、電、炭、組立式リヤカー等を収納してあります。



エレベータ

全てのエレベータは、センサーが震度四以上の地震を感じると最寄りの階に停止し扉を開きます。約一五秒後に扉が閉まった後に停止します。再起動のためには、メーカーの点検を経て安全の確認がなされなければなりません。



炊き出し

地震後停電が続き、また余震に備え、カセットコンロで味噌汁を温め、主食(御飯)は災害時用の釜を使い、薪でお湯を沸かし五目御飯百食分・お粥五十食分(アルファ米)を作りました。非常食は、お湯を注ぐだけで出来上がりです。食べてみると、とても美味しいことに驚きました。入所されている利用者の皆さんも「これならいつも食べている食事と変わらないくらいだね。」と満足されていました。



アなど善意に支えられてきた経緯もあります。昨年度は、延べ二二七四人もの方にボランティアに来ていただき、まさに欠かすことのできない存在であります。本当に感謝の思いで一杯です。私たちは、そうした経緯や関わりをしっかりと認識し、また、理念に合った働きとは何かを考え、做っていくことが必要です。

そして、この節目の二つ目の意義として、そのことを踏まえ、これからどう歩むかということに全職員が考えることにあると思っております。今年度は、市町の第五期介護保険事業計画（平成二四年度から平成二六年度）の策定年度に当たります。また、第三期障害福祉計画の策定年度にもなっており、これらの計画とも関係しながら、改めて、御殿場十字の園の中長期計画を策定していきたいと思えます。

先月、職員に対して各部署、事業所単位に、今後どんな取組をしていきたいか意見募集したところ、様々な建設的な意見がありました。主だったものとして、六五歳前の二号被保険者を中心とした、通所サービス。一人暮らしの方や特養の退所先としての高齢者ハウス等。グループホームや以前から検討を進めておりました地域密着型特養などがあります。これらは、直接業務を担当しながら必要性を感じてあがってきたものです。

そして、それらを実現するために、人財（材）育成や経営基盤の強化を図っていく必要もあります。

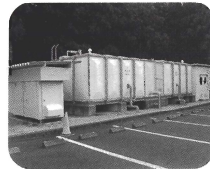
今後、是非とも実現に向け一つ一つ検討を重ねながら計画し、取り組んで参りたいと思えます。

電話回線・情報回線（インターネット）

—SDN電話とひかり電話を電話交換機に取り込んであります。停電時でも交換機は三時間稼働できるようなバッテリーがあります。非常用電源に各機器を繋いで電話・インターネットによる情報を受け取ることが出来るようになっていきますが、今回のような災害時には、電話は回線がパンクして非常に繋がりにくいということがあります。判りまじ



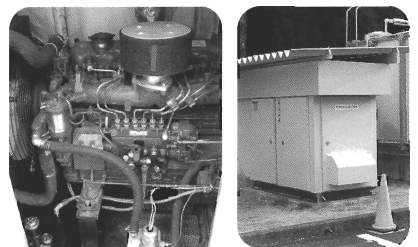
受水槽・水道



受水槽（給水タンク）を御殿場十字の園本館職員駐車場後方に設置してあります。縦三層×横四層×高さ二層の容積二四立方メートルのタンク二基に、常時八五％（合計四〇・八立方メートル、約四万リットル）の水を保持し、もし非常用発電機が失われても、受水槽から手動で水を取り出せるようになっております。

非常用発電機

施設の重要拠点に電力供給をする一号機と火災時対応のスプリンクラー等への給水を行う二号機があります。共にディーゼルエンジン（軽油）で発電機を動かします。一号機は二〇〇九年五月にフルメンテナンスを完了しております。燃料満タンでの連続運転は五時間〜六時間。一般家庭約四軒分の電力を賄うことができます。

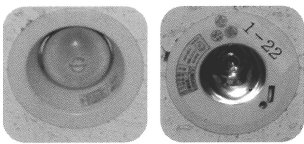


非常誘導灯

停電時は、誘導灯制御装置が誤作動を防いでいますが、十時間超の長時間停電になると制御装置バッテリーが切れて誘導光を発してきます。発光を始めた誘導灯はパネルを開けて配線を外す必要があります。

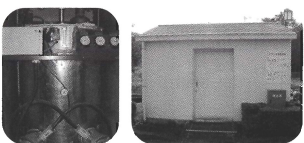


天井非常灯



停電時に常時点灯する非常用発電機直結のものとして避難経路を照らすバッテリー非常灯の二系統があります。前者は停電時に常時点灯していますが、設置数は数えるほどです。一方後者は一階・二階・三階各四二個、合計一五五個ありますが避難用であるため点灯時間は三〇分以内。

ガス供給設備



プロパンガスの供給装置を完備しています。堅牢なプロパンガスボンベ収納・供給倉庫を置いてあり、ここからの供給パイプには二重三重の安全装置として、震度四でガス供給を停止する遮断弁が取り付けられています。

御殿場十字の園開設40周年記念事業
市民公開講座及び作品展示会等のお知らせ

一九七一年に開設致しました御殿場十字の園（特別養護老人ホーム）は、今年で四〇周年を迎えます。それを記念致しまして、「認知症を予防しよう」をテーマに、市民公開講座を開催致します。また、下記の期間中に作品展示会等も開催致しますので、多数の方のご参加をお待ちしております。

【市民公開講座】
「認知症を予防しよう」
～スリーAから学ぶ認知症予防～

日時／平成二十三年五月二十一日(土)

午後一時三〇分～三時三〇分

会場／御殿場十字の園 ベロニカホール

講師／高齢者リフレッシュセンター

「スリーA」 理事長 増田未知子氏

募集人数／一〇〇名程度（先着順）

受講料／無料

御殿場十字の園四〇周年記念事業期間中（五月二十一日～五月三十一日）に、記念展示会や介護相談などを行っております。詳細は直接電話にて確認をお願い致します。

申し込み・問い合わせ／御殿場十字の園

TEL：〇五五〇（八三） 一九九九

※講演会申し込み期間／四月二十五日～五月十八日

御殿場十字の園苦情解決制度

1. 苦情解決の目的

- (1) 福祉サービスへの満足感を高める。
- (2) 早急な虐待防止策により、利用者の権利を擁護する。
- (3) 利用者が福祉サービスを適切に利用できるように支援する。
- (4) 苦情を密実化せず、社会的・客観性を確保し、一定のルールでの解決を進めることで、円滑円満な解決促進を図る。
- (5) 事業者の信頼や適正性の確保を図る。

2. 苦情解決の体制

〔苦情解決責任者〕
施設長・宮島 克利
〔苦情受付担当者〕

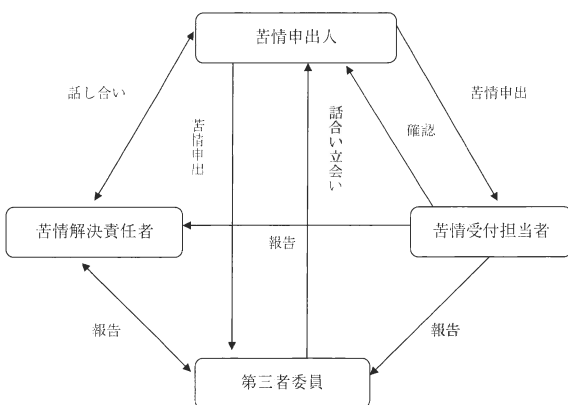
サービス種別	苦情受付担当者	
○介護老人福祉施設	介護長	塚本りつ子
	施設相談員	猪越 貴史 勝又 美佳
○居宅介護支援事業所	主任	井部 里美
○ヘルパーステーション	主任	中村美由紀
○短期入所生活介護事業所	短期入所相談員	宮地 秀明
○御殿場通所介護センター	主任	小野 真樹
○ふじざくら通所介護センター	主任	高橋 直輝
○二枚橋デイサービスセンターひだまり	副主任	深沢 直子
○アドナイ館（ケアハウス）	主任	田内 博夫
○障害者地域活動支援センターくろっちょ	主任	武藤 繁生
○医療・看護部門	主任	杉山 潔
○総務部門（事務所・給食・リネン等）	主任	高橋 雅昭

〔第三者委員〕
加藤喜美子氏（御殿場市保育施設
高根学園 前施設長）
小松 保氏

3. 苦情解決の手順

- (1) 利用者への周知
揭示、案内の配布等により、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員の氏名、連絡先と苦情処理の仕組みを周知する。
- (2) 苦情申出の方法
① 所定の投書用紙に苦情の内容明記の上、施設内に設置した投書箱に投函するか、直接口頭で苦情受付担当者へ苦情の内容を伝えることができる。
- (3) 苦情は書面により直接第三者委員、又は苦情解決責任者に申出ることができる。
- (4) 苦情の受付
① 苦情受付担当者は、利用者等からの苦情を随時受付ける。
② 苦情受付に際し、次の事項を書面に記録し、その内容について苦情申出人に確認する。
ア 苦情の内容・希望等
イ 第三者委員への報告の要否
ロ 及び話し合いへの第三者委員の助言、立会いの要否。
- (5) 第三者委員の役割
① 苦情内容の報告を受ける。
② 苦情内容の確認と、苦情申出人及び事業者への助言、解決案の調整。
③ 話し合いの結果や改善事項等の記録を確認。
④ 苦情解決の記録、報告、解決結果の公表
⑤ 苦情受付担当者は、受付から解決・改善までの経過と結果を記録する。

☆ 苦情解決の仕組み



- 備考…1. 苦情解決責任者は、苦情申出人との話し合いに第三者委員の立会い助言を要請できる。
2. 第三者委員は、日常的に苦情についての状況把握と意見聴取に努める。また、利用者の希望で、直接苦情を受付けることもできる。
 - ② 苦情解決責任者は、一定期間ごと苦情に係る事案の改善状況を第三者委員に報告し、助言を受けたら、解決結果を報告する。
 - ③ 苦情解決責任者は、苦情申出人に改善の約束をした事項について、苦情申出人と第三者委員に一定期間経過後報告する。
 - ④ 個人情報に関するものを除き、「事業報告書」や「広報誌」などに解決結果の実績を掲載、講評する。



十字の園へのボランティアに毎月、教会から六〜七名で衣類の繕い、名札の縫いつけ、リネンでのタオルたたみ作業に参加しています。私たちにとって、ボランティアは楽しい時間になっています。と言うより作業に参加することで、私たちも癒されています。わずかな時間ですが、お役に立てることを思う時、喜びが与えられます。

御殿場教会

中島 英治

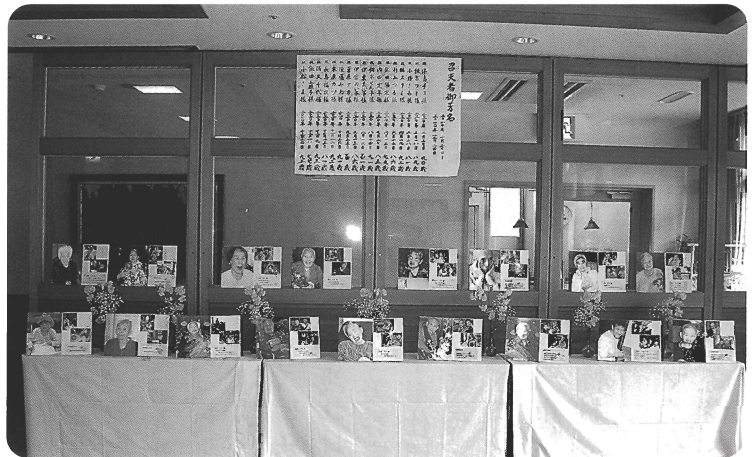
召天者記念礼拝

施設相談員 勝又 美佳

二〇二一年二月十七日(木)、二〇一〇年度に召天された御利用者様十七名を偲び召天者記念礼拝が執り行われ、会場には、召天された方々の元気で輝いていた時のお写真と、一緒に生活をさせていただいた職員のコメントが飾られました。礼拝では、讃美歌や中島善子牧師による説教が行われ、御遺族様、在園の御利用者様、職員で偲ぶ会となりました。

召天者記念礼拝終了後、御遺族様の懇談会の場を二〇〇七年より設けています。御遺族様より生前の懐かしいお話や、在園中になかなか話せなかったこと、退園してから感じたこと等を伺い、又、職員から施設での生活ぶりをお話し、思い出や御家族の思いを共有する時を持たせていただきました。御家族の一員としてお世話をさせていたにいる私達は、お別れの時を御家族と一緒に迎えます。お別れは何度経験しても決して慣

召天者記念礼拝



れることはありません。「よいケアができたでしょうか？」と自問自答してしまいます。しかし御遺族様より「十字の園に来てから笑顔が良く見られるようになった」等のお話を伺い、胸がいつぱいになりました。これからも精進して努め、御家族の一員として最期の時まで、できる限りのお手伝いができたらと思います。

ケアハウス

御殿場アドナイ館

新しい地で

岡田多鶴子

浜松から移って二度目の春。朝、目覚めてカーテンを開けると、檜木の向こうに暁の箱根の稜線がくつきりと見え、生きる力が湧き上がってくるのを感じます。廊下側は雲のかかり具合で日々美しさの変わる富士の山。住んでおればこそその恵みでしょう。「歩く会」で教えられた散策の道も数が増えました。富士と箱根に囲まれたこの地ならではのさわやかさを楽しみながら二年目も歩き続けたいと願っております。



献金下さった方々

敬称は略させていただきます

11月分

菅原幸和、小松智明、伊勢田きぬ、富士社会教育センター、安藤文知子

12月分

御殿場民踊グループ、鈴木艶子、社団法人日本善行会御殿場支部、藤池久子、石渡静子、武藤さく

2月分

忍、日本キリスト教団沼津教会、久保越、真中治俊、矢澤信明、瀬戸さと、千田恵子、中島善子、小林菊江、飯田米子、栗駒啓治、玉川聖学院

1月分

富士調理技術専門学校、上野忠昭、山崎よし子、岩槻教会、東洋英和女学院中高部宗教委員会、捜真女学院中高部・高等部

4～2月分 累計

108件 1,553,465円

御殿場十字の園へのご寄付

11月分	5件	133,000円
12月分	17件	302,000円
1月分	16件	239,000円
2月分	11件	106,982円

ご献金、ご献品心より感謝申し上げます。

郵便振替口座
口座番号 00870-9-190162
口座名称
社会福祉法人十字の園
御殿場十字の園

ご連絡下されば振替用紙をお送りいたします。

協力ボランティア

敬称は略させていただきます

12月

好琴会、芹澤菊枝、高橋文夫、隆生会書道、厚生年金婦人部、深沢民謡クラブ、みくりや友の会、杉山和子、中里京子、鈴木江里子、勝又とよ美、印野はざまの会、木洩れ日朗読の会、AKI美容室、市野はつ、弥生会、御殿場市赤十字奉仕団、御殿場教会、伊藤洋子、不二聖心女子学院高校温情の会、(株)コスメロール、高村恵子、若葉会、保土沢おかめひよつこの会、市婦連福祉グループ、シヤマイム池谷、鈴の会、中垣内紀子、関根保子、神保久美子、加藤正代、土屋明子、高根小学生、高根中学生、塚原さわやか部会

2月

代、中垣内紀子、土屋明子、AKI美容室、中里京子、勝又町子、御殿場市赤十字奉仕団、小林成一、山口順代、中富雅代、琴音会、高村恵子、芹澤菊枝、鈴の会、御殿場教会、(株)資生堂、なでしこ会、市婦連福祉グループ、鈴の会、関根保子、さわやか部会、高根婦人会OB会、高根中学生

1月

なでしこ会、シヤマイム池谷、高橋文夫、隆生会書道、一書道、厚生年金婦人部、みくりや友の会、貢宝会、中里京子、山口順代、中富雅代、市野はつ、ビューティー山田、木洩れ日朗読の会、AKI美容室、御殿場市赤十字奉仕団、弥生会、御殿場教会、芹澤菊枝、印野はざまの会、関根保子、鈴の会、市婦連福祉グループ、高村恵子

3月

中里京子、シヤマイム池谷、市野はつ、高橋文夫、隆生会書道、加藤正

保護教会、獣医師会駿東支部、動物ボランティア、厚生年金婦人部、みくりや友の会、二の岡女性の会、中郷館フラダンス同好会、ビューティー山田、木洩れ日朗読の会、AKI美容室

あとがき

明の崔銑が作った六然訓の中の「藹然」の意は「心優しく、春山に霞がかかっているように、のんびりとした雰囲気を感じる事。」今年の春誰もが心に欲した事です。心静かに、心安らかに。ふと聞こえる三十三年の時を経て巷に流れる「春一番」の曲と共に、この機関誌をお届けします。(やまもと)

お知らせ

二枚橋デイサービスセンター オープン

2011年4月1日

二枚橋デイサービスセンター「ひだまり」をオープンいたしました。
〒412-0021 静岡県御殿場市二枚橋296-2
(セブンイレブン御殿場二枚橋店後ろ、日本基督教団御殿場教会となり)